

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001006 大江支所改修事業										
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度			担当部名	地域振興部				
基本理念	21	質の高い行政サービスの提供				担当課	大江支所				
基本方針	01	行政運営を強化する				新規継続区分	新規事業				
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業				
施策						自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令											
	構成予算事業			会計	款	項	目				
810489	大江支所施設改修事業			01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費
実施方法	国庫補助事業			府補助事業			市単独事業				
	直接実施										
	業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: )										
	補助金 ( 補助先: )										
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	過去2回の水害により、大江支所の1階が浸水したことにより、支所機能の一部を2階へ移転する。										
対象 (誰・何を対象に)	市民										
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	浸水時の影響を少なくするため、大江支所改修工事により、総務防災係、地域振興係を2階へ移転する。 設計業務 2,959千円 改修工事 7,716千円(工事前金払い)										
関連事業 (同一目的事業等)											

事業計画額	コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		A	工事請負費	千円	0	7,716	0	0
			委託料	千円	0	2,959	0	0
			報酬	千円	0	0	0	0
			給料	千円	0	0	0	0
			職員手当等	千円	0	0	0	0
			共済費	千円	0	0	0	0
			災害補償費	千円	0	0	0	0
			恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
			賃金	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			小計	千円	0	10,675	0	0
		B	人件費	千円	0	1,200	0	0
	総事業費(A+B)	千円	0	11,875	0	0		
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0	
		府支出金	千円	0	0	0	0	
		国・府支出金 コメント						
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財 コメント							
	一般財源	千円	0	11,875	0	0		

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001006 大江支所改修事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	設計業務 改修工事	目標	件		2			
		実績			2			
		単位コスト			5337.500			
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		設計業務 改修工事	目標			2		
			実績			2		
			目標					
			実績					
		目標						
	実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		浸水後において支所機能を発揮する必要がある。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		浸水による支所の文書、事務用品等の被災が軽減できる。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		浸水後において安定した住民サービスを提供できる。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 浸水時にも防災機能を発揮するとともに、浸水後の住民サービスの提供が速やかにできる。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×	○		×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

<b>計画事業</b>	001092 大江支所所管地除草事業									
<b>評価基準年度</b>	平成27年度	<b>事業開始年度</b>	平成27年度			<b>担当部名</b>	地域振興部			
<b>基本理念</b>	21	質の高い行政サービスの提供				<b>担当課</b>	大江支所			
<b>基本方針</b>	01	行政運営を強化する				<b>新規継続区分</b>	新規事業			
<b>施策の大綱</b>						<b>実施計画区分</b>	実施計画事業			
<b>施策</b>						<b>自由区分3</b>	棚卸し未実施			
<b>根拠法令</b>										
<b>構成予算事業</b>			<b>会計</b>		<b>款</b>		<b>項</b>		<b>目</b>	
810482	大江支所所管地除草事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費
<b>実施方法</b>			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
<b>事務事業の意図</b> (どのような状態にしたいか)			大江支所の所管地の環境の維持を図る。							
<b>対 象</b> (誰・何を対象に)			大江支所所管地							
<b>事業内容</b> (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			大江支所所管地の除草業務委託料を計上 1 除草業務 290千円 2件							
<b>関連事業</b> (同一目的事業等)										

<b>事業計画額</b>	<b>コスト</b>	<b>役務費</b>	千円	平成28年度	0	平成27年度	290	平成26年度	0	平成25年度	0
		<b>報酬</b>	千円	0	0	0	0				
		<b>給料</b>	千円	0	0	0	0				
		<b>職員手当等</b>	千円	0	0	0	0				
		<b>共済費</b>	千円	0	0	0	0				
		<b>災害補償費</b>	千円	0	0	0	0				
		<b>恩給及び退職年金</b>	千円	0	0	0	0				
		<b>賃金</b>	千円	0	0	0	0				
		<b>報償費</b>	千円	0	0	0	0				
		<b>その他</b>	千円	0	0	0	0				
<b>小計</b>	千円	0	290	0	0						
<b>B 人件費</b>	千円	0	800	0	0						
<b>総事業費(A+B)</b>	千円	0	1,090	0	0						
<b>財源内訳</b>	<b>国支出金</b>	千円	0	0	0	0					
	<b>府支出金</b>	千円	0	0	0	0					
	<b>国・府支出金コメント</b>										
	<b>地方債</b>	千円	0	0	0	0					
	<b>その他特財</b>	千円	0	0	0	0					
<b>地方債・その他特財コメント</b>											
<b>一般財源</b>	千円	0	1,090	0	0						

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001092 大江支所所管地除草事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	件数	目標	件	1	2		
		実績			2		
		単位コスト	千円		145.000		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	件数	目標	件		2		
実績				2			
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		大江支所所管地を良好な環境で維持管理を継続するために必要である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		周辺との環境面での維持管理は有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		周辺住民の要望もあり、維持管理は適正な時期に実施する必要がある。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 大江支所所管地を維持管理するため、継続的に実施する必要がある。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000755	大江支所施設管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	21	質の高い行政サービスの提供				担当課	大江支所			
基本方針	05	その他				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
810454	大江支所施設管理事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者: )							
補助金			(補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			大江地域及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設である支所の管理運営を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			市民・職員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			大江支所庁舎及び公用車両の管理経費を計上している。 1 機械設備保守点検業務288千円・施設清掃業務792千円・浄化槽清掃及び維持管理188千円 2 支所庁舎の電気料4,968千円・水道料376千円・燃料費717千円・消耗品費451千円・施設修繕料226千円・備品修繕料65千円・車検整備費(除雪車)195千円 3 廃棄物処理手数料128千円・車両の保険141千円・法定点検手数料70千円・建物損害保険料9千円 4 車両重量税14千円・リース料15千円 5 備品購入業務用掃除機28千円							
関連事業 (同一目的事業等)			大江支所一般管理事業・大江支所文書管理事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	7,015	7,002	7,410	6,306
		委託料	千円	1,793	1,268	1,202	1,807
		役務費	千円	413	350	441	270
		備品購入費	千円	0	28	24	0
		使用料及び賃借料	千円	16	16	15	0
		公課費	千円	27	14	53	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	10	0	0	29
	小計	千円	9,274	8,678	9,145	8,412	
	B	人件費	千円	0	2,400	3,200	3,046
	総事業費(A+B)	千円	9,274	11,078	12,345	11,458	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	2,760	2,657	2,679	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	6,514	8,421	9,666	11,458	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000755 大江支所施設管理事業							
活動指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		支所維持管理経費	円	9,274,000	8,895,000	9,455,000	9,174,000	8,678,000	9,145,000
	単位コスト								
活動実績	在勤者数	人	47	46	44	45			
		実績		46	44	45			
		単位コスト		188.652	207.841	186.933			
成果指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		支所利用者数(25年度は災害により未集計)	人	13,100	13,100	13,100	13,100		
		実績		12,047	15,418				
	目標								
	実績								
	単位コスト								

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	住民サービスの拠点として必要不可欠である。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	身近に手続き・相談・要望等ができる施設として有効である。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	老朽化が進み維持管理費の経費もかさむ中、無駄を省き効率的に維持管理を行っている。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 身近な住民サービスの拠点施設として機能を強化する必要がある。老朽化に伴い経費が増すなか、職員一人1人が自覚を持ち、いかにコスト縮減を図るかが課題である。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000885	大江支所運営管理事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度			担当部名	地域振興部				
基本理念	21	質の高い行政サービスの提供				担当課	大江支所				
基本方針	05	その他				新規継続区分	継続事業				
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業				
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)				
根拠法令	なし										
構成予算事業			会計		款		項		目		
810450	大江支所一般管理事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	01	一般管理費	
810451	大江支所一般管理事業(経常)		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	01	一般管理費	
810452	大江支所文書管理事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	02	文書広報費	
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
直接実施											
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者: )								
補助金			(補助先: )								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			大江地域及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設である支所の管理運営を図る。								
対象 (誰・何を対象に)			大江地域及び近隣の市民								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			大江支所業務運営の経費を計上している。 1 当直及び日直臨時職員賃金4,722千円 2 事務用品165千円・印刷製本費15千円・複写機使用料980千円 3 電話使用料422千円・郵送料138千円 4 旅費28千円・高速道路等使用料2千円・放送受信料15千円 5 講習会参加負担金4千円 6 積立金130千円(ふるさと創生事業基金)								
関連事業 (同一目的事業等)			大江支所施設管理事業								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	賃金	千円	4,848	4,722	6,200	4,428
	使用料及び賃借料	千円	1,186	997	968	1,047
	役務費	千円	557	562	587	552
	需用費	千円	170	181	148	90
	積立金	千円	600	130	60	0
	旅費	千円	98	28	90	70
	負担金補助及び交付金	千円	0	4	4	4
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	82
	小計	千円	7,459	6,624	8,057	6,273
B	人件費	千円	0	6,800	7,600	2,307
総事業費(A+B)		千円	7,459	13,424	15,657	8,580
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	600	130	60	0
地方債・その他特財コメント						
一般財源		千円	6,859	13,294	15,597	8,580

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000885 大江支所運営管理事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	支所維持管理経費	円	7,459,000	6,815,000	6,800,000	6,802,000
			6,624,000	8,057,000	6,273,000	
活動実績	単位コスト					
	目標					
	実績					
	単位コスト					
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
支所利用者数 (25年度は災害により未集計)	目標	人		13,100	13,100	13,100
	実績			12,047	15,418	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	地域住民に対して迅速で細やかな行政サービスを提供する上で、重要な拠点として位置付ける支所機能の必要な経費である。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	支所の行政サービス業務を実施するために必要な経費である。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	市役所本庁から遠く離れた地域であり、支所が行政サービスの拠点として身近な存在となっており、迅速で細やかな対応で、安心安全な暮らしを提供している。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 支所機能を維持するための必要最小限の経費を計上している。迅速で充実した住民サービスを継続的に提供するため必要である。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		



# 計画事業評価表

<b>計画事業</b>	001044 大江支所窓口相談業務				
<b>評価基準年度</b>	平成27年度	<b>事業開始年度</b>	平成27年度	<b>担当部名</b>	地域振興部
<b>基本理念</b>	21	質の高い行政サービスの提供		<b>担当課</b>	大江支所
<b>基本方針</b>	05	その他		<b>新規継続区分</b>	継続事業
<b>施策の大綱</b>				<b>実施計画区分</b>	実施計画事業
<b>施策</b>				<b>自由区分3</b>	H28棚卸し(非公開)
<b>根拠法令</b>	福知山市支所事務分掌規則、福知山市手数料条例				
<b>構成予算事業</b>		<b>会計</b>	<b>款</b>	<b>項</b>	<b>目</b>
<b>事業基本情報</b>	<b>実施方法</b>	国庫補助事業                      府補助事業                      市単独事業 直接実施 業務委託又は指定管理                      ( 委託先又は指定管理者:                      ) 補助金                      ( 補助先:                      )			
	<b>事務事業の意図</b> (どのような状態にしたいか)	市民の利便性、市民サービス向上			
	<b>対 象</b> (誰・何を対象に)	窓口来庁者			
	<b>事業内容</b> (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	税務課・市民課・保険課・生活交通課・地域福祉課・高齢者福祉課・社会福祉課等に関する各種申請書・届出書の受付や証明書等の交付及び相談事務、また市の税金や手数料の受領を行う。			
<b>関連事業</b> (同一目的事業等)					

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
<b>コスト</b>	A	報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		旅費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	0	0	0	
	B	人件費	千円	0	33,040	0	0
	総事業費(A+B)	千円	0	33,040	0	0	
<b>財源内訳</b>	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	0	33,040	0	0	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001044 大江支所窓口相談業務					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		目標					
		実績					
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	窓口来庁者	目標	人	9000	9000	9000	9000
		実績			11265	12945	2866
	目標						
	実績						
	目標						
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		法律に基づき、市が行わなければならない事務であり、市民の利便性、市民サービス向上のために各支所を設置して行っているため、今後も必要である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		職員の能力向上により迅速性、正確性を向上させることができる。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		O A化が進み、証明書等の発行の事務処理がスムーズになった。条例に基づき手数料を徴収しているため、受益者負担は適正である。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 行政にしかできない事務もあり、ニーズは高い。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000758 地域振興センター管理事業		
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度 平成17年度	
基本理念	34 国内・国際交流の推進	担当部名 地域振興部	
基本方針	01 国内交流を推進する	担当課 大江支所	
施策の大綱		新規継続区分 継続事業	
施策		実施計画区分 実施計画事業	
根拠法令	なし	自由区分3 棚卸し未実施	
構成予算事業		会計	
130205 地域振興センター管理事業	01 一般会計	02 総務費	
		01 総務管理費	
		11 地域交流推進費	
実施方法	国庫補助事業	府補助事業	市単独事業
	直接実施		
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )		
	補助金 (補助先: )		
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設の特徴を活かし、大江地域を訪れる方々へ大江地域の魅力を発信する施設としての機能を高める。		
対象 (誰・何を対象に)	京都丹後鉄道大江駅を利用される市民や観光客		
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	地域振興センターの管理運営に係る経費を計上している。 1 施設維持管理の委託料 警備業務79千円・清掃業務677千円・消防設備業務49千円 2 地域振興センターの電気料849千円・上下水道料110千円・消耗品費11千円・廃棄物処理手数料69千円 3 建物共済7千円		
関連事業 (同一目的事業等)			

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	需用費	千円	1,087	972	1,051	873
	委託料	千円	1,298	806	1,169	1,044
	役務費	千円	9	78	23	7
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
小計	千円	2,394	1,856	2,243	1,924	
B	人件費	千円	0	1,200	800	461
総事業費(A+B)		千円	2,394	3,056	3,043	2,385
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	860	944	792	776
地方債・その他特財 コメント						
一般財源	千円	1,534	2,112	2,251	1,609	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000758 地域振興センター管理事業					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		駅周辺集客イベントの開催数	目標	3	3	3	3
			実績		3	3	3
			単位コスト		618.667	747.667	641.333
			目標				
			実績				
			単位コスト				
			目標				
			実績				
	単位コスト						
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		KTR大江駅乗降者数	目標		100,000	100,000	100,000
実績			人			59,034	
		目標					
		実績					
		目標					
	実績						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		京都丹後鉄道大江駅の機能を有している。 大江観光(株)及び福知山商工会を当該施設に置くことにより、大江を訪れる方々にきめ細やかな対応が期待できる。 大江山の象徴である鬼をモチーフにした鬼瓦の資料の展示と大江が生んだ詩人である真下飛泉を知ってもら			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		観光客の増加及び大江地域の観光等の産業が発展することが期待できる。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		大江観光(株)は占用割合に応じた施設管理経費を負担している。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 当該施設は京都丹後鉄道大江駅機能を有するため不可欠な施設である。関係課及び関係団体と連携し、大江地域の鉄道の玄関口としての賑わいの創造と京都丹後鉄道利用者を増加させる施策が必要である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 <b>維持</b> 拡大 コスト投入の方向性					

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000766	日本鬼文化交流事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度		担当部名	地域振興部				
基本理念	34	国内・国際交流の推進			担当課	大江支所				
基本方針	01	国内交流を推進する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	H28棚卸し(公開)				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
130117	日本鬼文化交流事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者: )							
補助金			(補助先: 日本鬼師の会 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			「鬼」という強烈な個性(CI、RI戦略)を前面に打ち出すことにより、新たな「文化」を醸し出し、ひと、ものの「交流」を促進する。具体的には、「鬼文化」の振興や鬼の情報発信する鬼瓦製作集団「日本鬼師の会」の活動支援により、全国に広く「京都府福知山市の鬼」をPRし鬼文化を発信する。また、鬼に関係する市町(兵庫県川西市・静岡県小山町・新潟県燕市)、全国鬼サミット参加団体との相互交流による経済活動はもちろん、交流人口の増大の効果により個性豊かな地域文化や地域イメージの創造を補完し、活性化を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			日本鬼師の会・友好市町(鬼伝説関連都市)							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			鬼瓦の常設展などによる鬼文化情報発信 日本鬼師の会全国研修大会補助金 日本鬼師の会設立25周年記念事業 特別研修大会(日本の鬼の交流博物館) 鬼を通じて友好関係にある兵庫県川西市、静岡県小山町及び新潟県燕市との相互交流、特産品販売PR。 4月19日 兵庫県川西市「川西源氏まつり」(源氏発祥の地) 7月25日・26日 静岡県小山町「富士金太郎夏まつり」(坂田の公時出生の地) 9月26日・27日 新潟県燕市「くがみ酒呑童子行列」(酒呑童子出生の地) 鬼を活かした地域おこしを行っている自治体等との情報交換、ネットワークづくりを目指す。 10月30日・31日・11月1日 第13回全国鬼サミットinそお(鹿児島県曽於市) 研修大会補助金 300千円 旅費(鬼サミット・鬼師の会・小山町) 228千円 高速道路通行料 24千円 パソコンリース 91千円							
関連事業 (同一目的事業等)			世界鬼学会							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	1,150	300	150	300
		旅費	千円	196	227	212	0
		使用料及び賃借料	千円	0	115	25	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	14	90
	小計	千円	1,346	642	401	390	
	B	人件費	千円	0	3,200	2,880	739
	総事業費(A+B)	千円	1,346	3,842	3,281	1,129	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	500	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
	一般財源	千円	846	3,842	3,281	1,129	

# 計画事業評価表

計画事業		000766	日本鬼文化交流事業				
事業実績と成果	活動実績	活動指標名 日本鬼師の会 大会・理事会	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
			目標	4	4	4	4
			実績	回	4	4	4
		単位コスト	円	160.500	100.250	97.500	
		鬼に関わる交 流等 相互交流	目標	6	6	6	6
			実績	回	4	4	3
	単位コスト		円	160.500	100.250	130.000	
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
			目標	100	100	100	100
			実績	人	84	94	94
		他市町との交 流人数・大会 参加者数	目標	60	60	60	60
			実績	人	108	89	72
単位コスト							

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		未来創造福知山第2章7節文化活動の推進第2編基本計画施策第2多様な文化交流を推進するため、大江山の鬼伝説を活かしたまちづくりを進めるにあたって、守護神である鬼瓦に着目し、全国の鬼師の方々との交流をとおし、鬼にこだわったまちづくりを展開してきた。今後も福知山市の鬼・鬼文化を全国に広く発信するためには「日本鬼師の会」との連携、全国の鬼に関わる自治体との連携が必要である。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		「日本鬼師の会」は、鬼瓦資料の蒐集や大江駅前の「鬼瓦公園」や酒呑童子の里の「平成の大鬼」の作成、日本の鬼の交流博物館の展示品など、本市の「鬼」を広く全国に発信する役割を担っている。また、「鬼にかかわる地域間交流」では、イベントでの交流を深めていくことにより地域経済の活性化を促す効果がある。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		「日本鬼師の会」は鬼瓦公園や平成の大鬼の作成など、本市の事業に貢献いただいている。「鬼」を全国に発信し、地域の活性化に繋げるためにも会の存続は不可欠であり、費用を最小限に抑え、事業の展開を行っている。鬼に関わる交流事業についても、最小限の人員に抑え省力化を図っている。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 「鬼」に関する地域間交流は行政のみならず、民間や団体等の交流を促す必要がある。また、関係市町と連携することにより、より強固に「鬼」を全国へ発信することができる。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000943 大江山エンジョイプログラム二瀬川散策コース整備事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度		担当部名	地域振興部				
基本理念	34	国内・国際交流の推進			担当課	大江支所				
基本方針	01	国内交流を推進する			新規継続区分	新規事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
130235	エンジョイ二瀬川散策コース整備事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			丹後天橋立大江山国定公園第1種特別地域に指定された奇岩で有名な二瀬川溪流や参勤交代で使用された石畳が残る旧宮津街道流の魅力を広く知ってもらうため、散策道、誘導看板の整備をすることにより多くの観光客にその魅力を体感してもらう。							
対象 (誰・何を対象に)			観光客							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			二瀬川溪流の散策路の安全性を高めるため、橋梁等の整備を行う。 測量設計業務(橋梁予備設計)8,713千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	8,600	8,713	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	18,012	0	703	0
	小計	千円	26,612	8,713	703	0
B	人件費	千円	0	400	1,200	0
	総事業費(A+B)	千円	26,612	9,113	1,903	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	5,228	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	26,500	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	112	3,885	1,903	0

# 計画事業評価表

計画事業		000943 大江山エンジョイプログラム二瀬川散策コース整備事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	橋梁工事	目標	件	26,612,000	3	2	
		実績			1	2	
		単位コスト			8713.000	351.500	
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
単位コスト							
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
入込み客数	目標	人		50	40		
	実績				25		
	目標						
	実績						
	目標						
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		大江山一帯は、京都府をはじめとした京都中部地域の森の京都構想及び市の国定公園エンジョイプログラムに位置づけられており、今後、地域資源を活かした事業展開で、集客増加が期待できる。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		大江山、大江山グリーンロッジ(宿泊)、二瀬川渓流、元伊勢内宮皇大神社とネットワークを組みむことで、点から線への観光客の導線を生み出す必要がある。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		既存のものは、利活用し修繕をするなど省力化を図っている。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 大江地域は森の京都と海の京都の両方に位置づけられており、特に大江山から元伊勢内宮にかけての地域は、今後観光面での展望が特に期待できる区域であり、集客性もあることから、事業の維持をしていくことが必要である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000764	元伊勢八朔祭礼練込保存会補助							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成2年度	担当部名	地域振興部				
基本理念	43	観光の振興		担当課	大江支所				
基本方針	01	地域資源を活性化する		新規継続区分	継続事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし								
構成予算事業		会計		款		項		目	
130332	元伊勢八朔祭補助事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
実施方法		補助金 (補助先: 元伊勢八朔練込保存会)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		明暦4年(1658年)から続く京都府伝統的行催事である「元伊勢八朔祭礼」の保存継承に取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対して支援を行うことにより、福知山の伝統文化の発信や次代への継承及び地域の活性化を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		観光客及び市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に補助金を交付する。 【元伊勢八朔祭礼】 事業概要: 実施日: 9月の第1日曜日 実施場所: 大江町天田内・内宮・二俣地内 事業内容: 奴行列、烏毛廻し、練込み祭礼							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	78	78	78	78
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	78	78	78	78
	B 人件費	千円	0	240	160	462
	総事業費(A+B)	千円	78	318	238	540
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	78	318	238	540

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000764 元伊勢八朔祭礼練込保存会補助						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		奴行列・鳥毛廻し実施回数	目標	回	1	1	1	1
			実績			1	1	1
			単位コスト			78.000	78.000	78.000
		鳥毛廻し参加地区数	目標	地区	3	3	3	3
			実績			3	3	3
	単位コスト				26.000	26.000	26.000	
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		入込客数	目標	人	1500	1,500	1,500	1,500
			実績			700	700	650
			単位コスト					
		目標						
実績								
単位コスト								

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、「元伊勢八朔祭礼」の保全継承などに取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対し補助することにより登録無形民俗文化財の継承を図る。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	伝統的行事を体感することにより、地域に対する愛着や誇りを深められるとともに、文化の継承を図る。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	伝統的祭事に対して補助を行っているが、限られた財源のため補助は必要であるが額の見直しを検討する。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 江戸時代から続く伝統ある催事を守ることは、市として肝要なことであるが支援の方法を見直す必要がある。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000765 大江山酒呑童子祭り支援事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	地域振興部				
基本理念	43	観光の振興			担当課	大江支所				
基本方針	01	地域資源を活性化する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
130331	大江山酒呑童子祭り支援事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : 大江山酒呑童子祭り実行委員会 )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			大江山の鬼伝説を活かした「大江山酒呑童子祭り」を実施することにより、鬼伝説や大江山を市内外に向けてPRする。また、イベントを通じて観光客を誘致するとともに地域の活性化につなげる。							
対象 (誰・何を対象に)			観光客及び市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			「大江山酒呑童子祭り実行委員会」に補助金を交付する。 【大江山酒呑童子祭り】 事業概要： 実施日：10月25日（日） 実施場所：京都丹後鉄道大江駅周辺、酒呑童子の里 事業内容：鬼武者行列、全国伝統鬼芸能、大江山鬼検定等							
関連事業 (同一目的事業等)										

コスト	負担金補助及び交付金	千円	0	2,500	2,500	500
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
小計	千円	0	2,500	2,500	500	
B	人件費	千円	0	4,960	3,360	1,385
総事業費(A+B)		千円	0	7,460	5,860	1,885
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	1,000	0	0
	国・府支出金コメント	「森の京都 福知山」市町村支援事業				
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	500	2,500	500
地方債・その他特財コメント						
一般財源		千円	0	5,960	3,360	1,385

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000765 大江山酒吞童子祭り支援事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	実行委員会参加団体数	目標	団体	26	20	20	20
		実績			25	25	20
		単位コスト	円		100.000	100.000	25.000
	イベント数	目標	個	12	12	12	12
		実績			15	10	
		単位コスト	円		166.667	250.000	
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
入込客数	目標	人	5,000	5,000	5,000	5,000	
	実績			6,000	5,500		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	市のイメージキャラクターである「鬼」と「大江山」を活かしたイベントは、本市のPRと地域の活性化につながるため、市としてを支援する必要がある。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	「鬼」に特化したお祭りで、毎年5千人程度の集客があり、地域の観光振興に寄与している。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	自主財源確保の努力と事業内容を創意工夫することによって削減の可能性はある。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		皆減	縮小	維持	拡大		コスト投入の方向性						<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 平成28年4月に大江地域の活性化や地域課題解決に取り組む「大江まちづくり住民協議会」が発足したことにより、今後は同協議会において柔軟な運営を行うことにより地域の特色を活かしたイベントへ発展させる必要がある。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
	皆減	縮小	維持	拡大																														
コスト投入の方向性																																		

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000767	和紙伝承館管理事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成17年度	担当部名	地域振興部				
基本理念	43	観光の振興		担当課	大江支所				
基本方針	01	地域資源を活性化する		新規継続区分	継続事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	福知山市大江町和紙伝承館条例								
構成予算事業			会計	款	項	目			
230211	和紙伝承館管理事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
実施方法		補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		和紙伝承館は、かつての地場産業であった「丹後和紙」を後世へ伝承することを目的に設置された。本館では和紙の手漉き体験もでき丹後和紙について学習できる施設として観光・産業振興をテーマに地域活性化に寄与する。							
対象 (誰・何を対象に)		市民・来館者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		伝統地場産業である手すき和紙の継承と活性化を図るため、手すき和紙体験や和紙を活用した企画展示を行う。平成27年度から運営方法の見直しを行い、指定管理施設から直接運営に変更し、より専門的で適切な施設運営が行えるよう検討している。							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	997	883	4,115	4,000
		賃金	千円	653	756	0	0
		需用費	千円	368	246	63	37
		役務費	千円	45	29	36	8
		備品購入費	千円	0	24	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	2,063	1,938	4,214	4,045	
	B	人件費	千円	0	2,160	400	277
	総事業費(A+B)	千円	2,063	4,098	4,614	4,322	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	384	164	0	0	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	1,679	3,934	4,614	4,322	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000767 和紙伝承館管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	企画展示	目標	回	10	10		
		実績			10		
		単位コスト	円		193.800		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	目標	人	2,000	2,000	2,000	2,000	
	実績			1,257	1,400	1,284	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		「丹後和紙」は漆こし用の極薄の和紙すきなど卓越した技術を必要とし、京都府の無形文化財にも指定されている。この技術は継承していく必要がある。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		江戸時代から続いている「丹後和紙」の文化伝承は不可欠であり、次世代へ引継ぐ必要性が高い。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		来館者から入館料の徴収や、手すき和紙体験の体験料など受益者から負担いただいている。また、来館者の頻度の分析により土日祝日のみの会館としている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 開館日を限定するなど、効率的な運営ができています。また、本市の伝統産業である漆や藍染を含め産業の振興を図る必要がある。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
縮小	×		×	×	
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000770	大雲記念館等管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成17年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	43	観光の振興				担当課	大江支所			
基本方針	01	地域資源を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
230207	大雲記念館等管理事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: 大江観光株式会社 )							
実施方法			補助金 ( 補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			指定管理者制度を導入し、民間の経営ノウハウを活用する中で施設の有効活用を図る。鬼力亭は、地域食材を活用し産業振興に寄与するとともに、大雲塾舎は人材交流を目的とした宿泊施設を有する研修施設として地域の活性化に寄与する。また、京都府有形文化財に指定されている大雲記念館は歴史の継承と鬼力亭の別館として活用する。							
対象 (誰・何を対象に)			指定管理者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			大雲塾舎、鬼力亭及び大雲記念館を適正かつ円滑に管理するため指定管理者制度を導入し、利用料金制による効率的な利活用を図る。							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	11,578	11,578	12,652	12,301
		役務費	千円	52	50	48	47
		使用料及び賃借料	千円	50	50	50	50
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	11,680	11,678	12,750	12,398	
	B	人件費	千円	0	960	400	277
	総事業費(A+B)	千円	11,680	12,638	13,150	12,675	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	35	35	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	11,645	12,603	13,150	12,675	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000770 大雲記念館等管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	企画経営会議	目標	回	12	12	12	12
		実績			12	12	12
		単位コスト	円		973.167	1062.500	1033.167
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標					
		実績					
		単位コスト					
成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	利用者数(大雲塾舎)	目標	人	10,300	10,300	9,300	8,400
		実績			8,883	9,588	9,108
	利用者数(鬼力亭)	目標	人	13,000	11,200	11,200	11,000
		実績			12,844	10,603	10,807
	利用者数(大雲記念館)	目標	人	1,400	1,000	1,000	1,000
		実績			1,352	799	761

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市はモニタリングによる適切かつ確実なサービスの提供確保の確認、及び改善に向けた指導・助言を行っている。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		民間経営のノウハウを活用し、迅速かつ柔軟な対応、地元雇用の創出を図るのに有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		民間の経営ノウハウを活用し、施設の効果的利活用、省力化等による経費節減を図っている。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 大雲記念館を鬼力亭の別館として活用するなど、施設の一体的な利用が求められている。また、記念館の入館を予約制にするなど、人件費の削減を行っている。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
休廃止	縮小	x		x	x
	皆減		x	x	x
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000771	大江ふるさと観光ガイド事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度		担当部名	地域振興部				
基本理念	43	観光の振興			担当課	大江支所				
基本方針	01	地域資源を活性化する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	H28棚卸し（非公開）				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
230268	大江ふるさと観光ガイド事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者： 大江地域観光案内倶楽部 )							
補助金			( 補助先： )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			近年のハイキングブームにより、丹後天橋立大江山国定公園の大江山や元伊勢三社への注目度が高まっている。観光案内を行うことや地場製品のPRにより、来訪された観光客の満足度向上を図るとともに、観光客の増加につなげ、地域の賑わいを創出する。							
対象 (誰・何を対象に)			来訪者（観光客等）							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			本事業は、京都丹後鉄道大江山口内宮駅に近接し、丹後天橋立大江山国定公園大江山や元伊勢への観光の誘客拠点として駅舎を兼ねた観光案内所兼休憩所として整備された元伊勢観光センターを拠点施設として観光案内を行っている。 観光客の対応のため土日祝及び夏休み期間中に「大江地域観光案内倶楽部」に委託し観光ガイドを行い地域の魅力を発信するなど、観光客の満足度向上を図っている。 また、JR西日本と連携し、毎週土曜にディスカバーハイキングを実施するなど広域なPRを行っている。 なお、元伊勢観光センター内において「どぶろく研究会」が食堂の運営を行っている。							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	675	661	676	0
		報償費	千円	196	80	100	194
		役務費	千円	68	73	66	80
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	6	0	39	1,794
	小計	千円	945	814	881	2,068	
財源内訳	B	人件費	千円	0	1,600	400	1,846
		総事業費(A+B)	千円	945	2,414	1,281	3,914
		国支出金	千円	0	0	0	2,068
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
財源内訳		その他特財	千円	945	813	880	0
		地方債・その他特財コメント					
		一般財源	千円	0	1,601	401	1,846

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000771 大江ふるさと観光ガイド事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開設日数	目標	日	144	145	144	208
		実績			145	144	208
		単位コスト	円		5.614	6.118	9.942
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	利用者数	目標	2,080	2,080	2,080	2,080	
		実績		1,803	1,632	2,561	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		本地域は丹後天橋立大江山国定公園である大江山や元伊勢三社等多くの観光資源を有している。地域の観光案内を行うことにより、観光客の満足度を向上させるためにも必要性が高い。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		自家用車での来訪者だけでなく、京都丹後鉄道大江山口内宮駅に近接しており鉄道利用者の観光に関する観光案内を行っており、本地域の観光に対する有効性は高い。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		「大江地域観光案内倶楽部」に観光ガイドを委託し、観光客の満足度向上につなげることができた。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>x</td> <td></td> <td>○</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	x				維持	x		○	x	縮小	x		x	x	休廃止		x	x	x			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性				A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 当事業は丹後天橋立大江山国定公園に指定されている大江山や元伊勢三社の観光客に対してガイドを行っており有効な事業である。 今後、より一層の利用者を増やすためにも、広域的なPRが必要である。			
成果の方向性	拡充		x																																			
	維持		x		○	x																																
	縮小		x		x	x																																
	休廃止		x	x	x																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
		コスト投入の方向性																																				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	001005	元伊勢内宮参道マルシェ支援事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度	担当部名	地域振興部					
基本理念	43	観光の振興		担当課	大江支所					
基本方針	01	地域資源を活性化する		新規継続区分	新規事業					
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業					
施策				自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
130334	「森の京都」元伊勢内宮参道マルシェ事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業	府補助事業	市単独事業					
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			平成26年度に地域主体で開催された、元伊勢内宮参道マルシェを支援することにより、内宮地区をはじめ地域の活性化を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			大江元気プロジェクト及び来場者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			大江元気プロジェクトへ補助金を交付することにより、元伊勢内宮参道マルシェの拡充をはかり賑わいを創出する。							
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		負担金補助及び交付金	千円	0	1,200	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		小計	千円	0	1,200	0	0
		B	人件費	千円	0	400	0
総事業費(A+B)	千円	0	1,600	0	0		
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	600	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源	千円	0	1,000	0	0		

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001005 元伊勢内宮参道マルシェ支援事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開催回数	目標	回	1	1		
		実績			1		
		単位コスト			1200.000		
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	来場者数	目標	5,500	4,500			
		実績		5,000			
	出店数	目標	87	80			
		実績		87			
		目標					
		実績					

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市外からも多くの来場者が見込めることから、元伊勢三社をPRできることから、本市として補助を行った。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		5000人の来場者があり、大江町内宮を広く発信できるとともに、約80店舗の出店により地域経済の活性化が図られる。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		大江元気プロジェクトもコスト削減を心がけて開催されている。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 元伊勢内宮参道マルシェが2年続けて開催されており、今後も継続的に開催される体制作りが必要である。また、他地区でも同様の地域活性化策が展開できるよう今後の広がりが必要である。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000762	元伊勢観光センター管理経費								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度	担当部名	地域振興部					
基本理念	43	観光の振興		担当課	大江支所					
基本方針	02	観光施設・交流施設を充実する		新規継続区分	継続事業					
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業					
施策				自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
230259	元伊勢観光センター管理事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業	府補助事業	市単独事業					
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
実施方法			補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			丹後天橋立大江山国定公園の大江山や元伊勢三社の観光案内機能を持たせるとともに、施設の有効利用を図るため当施設一部について使用者を公募し、どぶろくづくりや食堂運営を行っている。 大江山、元伊勢等多くの観光資源を有する国定公園の玄関口・誘客拠点として維持運営を目指す。							
対象 (誰・何を対象に)			観光客							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			元伊勢観光センターの施設維持(建物損害共済保険料、借地料、光熱水費、老朽箇所・損傷箇所修繕)のための経費。							
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		A	需用費	千円	592	363	403	294
			委託料	千円	237	165	199	172
			役務費	千円	9	8	8	9
			報酬	千円	0	0	0	0
			給料	千円	0	0	0	0
			職員手当等	千円	0	0	0	0
			共済費	千円	0	0	0	0
			災害補償費	千円	0	0	0	0
			恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	5	5
			小計	千円	838	536	615	480
			B	人件費	千円	0	960	480
	総事業費(A+B)	千円	838	1,496	1,095	757		
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0	
		府支出金	千円	0	0	0	0	
		国・府支出金 コメント						
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他特財	千円	516	295	213	320	
	地方債・その他特財 コメント							
	一般財源	千円	322	1,201	882	437		

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000762 元伊勢観光センター管理経費					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開設日数	目標	日	140	104	104	104
		実績			143	104	84
		単位コスト				5.913	5.714
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
開設日数利用者	目標	人	1,800	1,500	1,500	1,500	
	実績			1,774	2712	2,355	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		丹後天橋立大江山国定公園や元伊勢三社など多くの観光資源を有する拠点施設として重要な施設である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		丹後天橋立大江山国定公園や元伊勢三社の観光客に対する情報提供の場として有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		施設の一部をどぶろく製造及び提供場所として、また「大江観光案内倶楽部」により土日祝、夏休みに当施設を開設している。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 観光客のニーズに応えとともに、コストを最小限に納めるため、土日祝日及び夏休みシーズンに開設している。より多くの観光客を誘客するため、広域的なPRが必要である。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000763	観光関連施設管理事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度		担当部名	地域振興部			
基本理念	43	観光の振興			担当課	大江支所			
基本方針	02	観光施設・交流施設を充実する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計		款		項		目
230261	観光関連施設管理事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
実施方法		補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		観光施設のトイレやハイキング道等の維持管理及び保全管理補助により、観光振興の推進を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		観光客・市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		観光地の公衆トイレの適切な維持管理をおこなう。また、ハイキング道やオノ神の藤公園など観光施設等の適切な管理のため、業務委託や補助を行っている。							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	2,081	1,624	1,661	1,531
	需用費	千円	316	406	321	249
	負担金補助及び交付金	千円	90	90	90	90
	役務費	千円	41	27	17	34
	使用料及び賃借料	千円	16	15	15	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	15
	小計	千円	2,544	2,162	2,104	1,919
B	人件費	千円	0	1,360	560	923
総事業費(A+B)		千円	2,544	3,522	2,664	2,842
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
地方債・その他特財コメント						
一般財源		千円	2,544	3,522	2,664	2,842

# 計画事業評価表

計画事業		000763 観光関連施設管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	整備回数	目標	回	1	1	1	1
		実績			1	1	1
		単位コスト			2162.000	2104.000	1919.000
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
大江山入込客数	目標	人	30,000	30,000	115,000	115,000	
	実績			29,180	100,980	113,070	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	大江山や周辺を観光される方に安全で快適に過ごしていただくためのハイキング道や観光トイレの維持管理は必要である。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	大江山や周辺を観光される方に快適に過ごしていただくことによって、観光客の満足度を高めることができるため有効である。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	必要最小限の維持管理経費である。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 快適な観光を提供するための最低限の経費である。各施設の経年劣化により施設修繕費の財源確保が課題である。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000768	鬼瓦工房等管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成17年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	43	観光の振興				担当課	大江支所			
基本方針	02	観光施設・交流施設を充実する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	福知山市大江山鬼瓦工房等条例									
構成予算事業			会計	款		項		目		
230210	大江山鬼瓦工房等管理事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者： 大江観光株式会社 )							
補助金			( 補助先： )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			指定管理者制度を導入し、民間の経営ノウハウを活用する中で施設の有効活用を図る。大江山地域の歴史的及び自然的資源を活用した農林業体験施設、観光関連施設として、都市住民に豊かな自然に親しむ機会を提供するとともに地域の活性化を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			指定管理者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			大江山鬼瓦工房、童子荘、バンガロー及び管理棟、自然環境活用センター、バーベキューハウス、大江山グリーンロッジ周辺施設、野鳥の森管理棟、多目的グラウンド、テニスコート、キャンプ場、水車小屋、遊You広場を適正かつ円滑に管理するため指定管理者制度を導入し、利用料金制による効率的な利活用を図る。 指定管理料 7,776千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	7,776	7,776	6,686	6,500
		使用料及び賃借料	千円	856	855	855	0
		役務費	千円	36	35	33	35
		報酬	千円	0	0	10	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	855
	小計	千円	8,668	8,666	7,584	7,390	
	B	人件費	千円	0	960	400	277
	総事業費(A+B)	千円	8,668	9,626	7,984	7,667	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	8,668	9,626	7,984	7,667	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000768 鬼瓦工房等管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	企画経営会議	目標	回	12	12	12	12
		実績			12	12	12
		単位コスト	円		722.167	632.000	615.833
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	目標	人	10,000	10,000	10,000	5,500	
	実績			8030	9,099	9,817	
	目標						
	実績						
	目標						
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市はモニタリングによる適切かつ確実なサービスの提供確保の確認、及び改善に向けた指導・助言を行っている。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		民間の経営ノウハウを活用し、迅速かつ柔軟な対応、住民サービスの向上、雇用の創出等を図るのに有効である。夏季は学生等をはじめ利用者が多いが、冬季の誘客が課題である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		民間の経営ノウハウを活用し、施設の効果的利活用、省力化等による経費節減を図っている。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 夏季は学生の合宿をはじめ多くの来客があるが、冬季は利用者が大きく落ち込んでいるため、冬季に誘客できる仕組みづくりが必要である。また、地域皆様にも活用していただけるようPRが必要である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000772 大江地域施設改修事業										
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度	担当部名	地域振興部						
基本理念	43	観光の振興		担当課	大江支所						
基本方針	02	観光施設・交流施設を充実する		新規継続区分	継続事業						
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業						
施策				自由区分3	棚卸し未実施						
根拠法令	なし										
	構成予算事業			会計	款	項	目				
230257	酒呑童子の里改修事業			01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
230256	あしぎぬ大雲の里改修事業			01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
230279	「森の京都」大江山グリーンロッジ整備事業			01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法	国庫補助事業			府補助事業			市単独事業				
	直接実施										
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )										
	補助金 (補助先: )										
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	観光施設の老朽箇所、損傷箇所の適切な修繕を行うことにより、施設機能の維持・建物の長寿命化及び利用者の安全性・利便性を確保する。										
対象 (誰・何を対象に)	市民、観光客										
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	「酒呑童子の里」「あしぎぬ大雲の里」「大江駅周辺」「和紙伝承館」等の施設の老朽箇所等の改修(修繕)を行う。 酒呑童子の里改修事業 9,454千円 あしぎぬ大雲の里改修事業 413千円 「森の京都」グリーンロッジ改修事業 2,447千円										
関連事業 (同一目的事業等)											

コスト	A	需用費	千円	平成28年度	1,429	平成27年度	6,493	平成26年度	574	平成25年度	1,227
		工事請負費	千円	0	2,786	4,616	0				
		委託料	千円	0	1,653	108	0				
		備品購入費	千円	0	1,244	582	0				
		旅費	千円	0	79	31	0				
		使用料及び賃借料	千円	0	39	0	0				
		役務費	千円	0	20	48	40				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	14,290				
小計	千円	1,429	12,314	5,959	15,557						
B	人件費	千円	0	3,760	1,760	4,800					
総事業費(A+B)	千円	1,429	16,074	7,719	20,357						
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	1,223	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	0	1,000	5,700	0					
	その他特財	千円	1,429	6,736	0	13,505					
地方債・その他特財 コメント											
一般財源	千円	0	7,115	2,019	6,852						

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000772 大江地域施設改修事業					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		目標					
		実績					
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						
	目標						
	実績						
	単位コスト						
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		施設利用者の安全性・利便性を確保するため、施設の老朽箇所等の改修が必要である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		観光客の満足度を上げるため計画的な改修が有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		施設機能の維持・建物の長寿命化のため計画的な改修を行うことが効率性につながる。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 老朽化する施設の計画的な修繕及び財源確保が課題であり、公共施設マネジメントにより施設の集約化を進める必要がある。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
皆減 縮小 <b>維持</b> 拡大 コスト投入の方向性					

# 計画事業評価表

<b>計画事業</b>	001094 蓼原ロードパーク・猿田彦公園管理事業										
<b>評価基準年度</b>	平成27年度	<b>事業開始年度</b>	平成27年度			<b>担当部名</b>	地域振興部				
<b>基本理念</b>	43	観光の振興				<b>担当課</b>	大江支所				
<b>基本方針</b>	02	観光施設・交流施設を充実する				<b>新規継続区分</b>	新規事業				
<b>施策の大綱</b>						<b>実施計画区分</b>	実施計画事業				
<b>施策</b>						<b>自由区分3</b>	棚卸し未実施				
<b>根拠法令</b>											
	<b>構成予算事業</b>			<b>会計</b>	<b>款</b>	<b>項</b>	<b>目</b>				
130232	蓼原ロードパーク・猿田彦公園管理事業			01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
<b>実施方法</b>	国庫補助事業			府補助事業			市単独事業				
	直接実施										
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: みらい学園 福知山市シルバー人材センター)										
	補助金 (補助先: )										
<b>事務事業の意図</b> (どのような状態にしたいか)	蓼原ロードパークは、国道175号を利用されるドライバーの休息所として、猿田彦公園は地域住民に親しまれる親水公園として共に地域活用を図る。										
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	公園利用者、近隣住民										
<b>事業内容</b> (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	維持管理料を計上 1 蓼原ロードパーク 維持管理業務 680千円(みらい学園) 廃棄物処理手数料 16千円 水道料 84千円 電気料 18千円 2 猿田彦公園 170千円(シルバー人材センター)										
<b>関連事業</b> (同一目的事業等)											

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
<b>コスト</b>	A	委託料	千円	1,080	850	0	0
		需用費	千円	104	102	0	0
		役務費	千円	0	16	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	<b>小計</b>	千円	1,184	968	0	0	
B	人件費	千円	0	800	0	0	
	<b>総事業費(A+B)</b>	千円	1,184	1,768	0	0	
<b>財源内訳</b>		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財	千円	101	102	0	0
	地方債・その他特財コメント						
	<b>一般財源</b>	千円	1,083	1,666	0	0	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		001094 蓼原ロードパーク・猿田彦公園管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	件数	目標	件数	2	2		
		実績			2		
		単位コスト		千円		484.000	
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	件数	目標	件		2		
実績				2			
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		国道175号を利用されるドライバーの休息所として、地域住民に親しまれる公園として維持管理を継続するため必要である。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		利用者に好印象を与え、イメージアップにつながる。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		利用者に親しまれる公園として、維持管理は必要である。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 国道175号を利用されるドライバーの休息所として、地域住民に親しまれる公園として維持管理を継続するため必要である。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000756	大江支所きめ細かな安心安全事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度		担当部名	地域振興部				
基本理念	61	土地利用および市街地・集落整備			担当課	大江支所				
基本方針	04	集落環境を保全・整備する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
510455	大江支所きめ細かな安心安全事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			周辺地域への迅速できめ細かい対応による住民満足度の向上を図る							
対象 (誰・何を対象に)			大江地域の住民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			住民の安心安全を確保するために、重要かつ緊急に対処しなければならないと支所長が判断する小規模修繕等に対応する。 市道田井岡線側溝修繕(二保) 1件 627,480円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	需用費	千円	500	627	435	410
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	64	84
	小計	千円	500	627	499	494
B	人件費	千円	0	800	1,360	2,584
	総事業費(A+B)	千円	500	1,427	1,859	3,078
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	500	1,427	1,859	3,078

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000756 大江支所きめ細かな安心安全事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	実施件数	目標	500,000	3	3	3
		実績		1	3	3
		単位コスト		627.000	166.333	164.667
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	実施事業費	目標	500,000	500,000	500,000	
		実績		435,240	493,500	
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		自治会要望の小修繕に迅速な対応による住民満足度の向上を図るうえで事業実施の必要性は高い。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		小修繕対応であるため各自治会からの要望を数件対応でき、住民生活の安心安全が図れる。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		支所長裁量によるため、迅速かつきめ細かな対応ができる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 自治会要望の高い修繕について、府、市の事業採択から漏れた要望について、緊急かつ迅速に対応するため、支所長裁量による事業実施は極めて有効である。 小修繕であるため、複数の案件に対応できるため、継続して取り組む。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大



# 計画事業評価表

計画事業	000760 鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業										
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成7年度			担当部名	地域振興部				
基本理念	62	生活空間の整備			担当課	大江支所					
基本方針	01	住宅・宅地の整備を推進する			新規継続区分	継続事業					
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業					
施策					自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	なし										
構成予算事業				会計	款	項	目				
530101	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業			01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法	国庫補助事業			府補助事業			市単独事業				
	直接実施										
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )										
	補助金 (補助先: )										
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	大江町に定住を希望する人々に一定期間Uターンプラザで生活してもらい、その間に定住に必要な技能(住居・知識・人脈等)を身につけてもらうことにより若者の大江地域への定住を図る。また、より満足を得られる施設とするための改修を行う。										
対象 (誰・何を対象に)	Uターンプラザ入所者										
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	鬼の里Uターンプラザ1・2の管理運営及び施設維持に関する経費 1 Uターン運営委員会委員報酬27千円 2 電話料郵送料64千円 3 施設の電気料448千円・上下水道料86千円・燃料費1千円・事務用品等消耗品7千円 4 室内クリーニング料251千円・施設等修繕料129千円・建物共済51千円 5 消防施設点検委託料22千円、意見書作成30千円										
関連事業 (同一目的事業等)											

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	1,095	671	886	903
		役務費	千円	515	396	302	107
		報酬	千円	30	27	9	21
		委託料	千円	472	22	22	21
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	2,112	1,116	1,219	1,052	
B	人件費	千円	0	9,080	8,200	8,876	
	総事業費(A+B)	千円	2,112	10,196	9,419	9,928	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	1,116	1,219	1,052	
	地方債・その他特財 コメント	その他特財 = 使用料収入					
	一般財源	千円	2,112	9,080	8,200	8,876	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000760 鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	Uターンプラザ入所募集広報回数	目標	回	3	3	3	3
		実績			2	2	1
		単位コスト			558.000	609.500	1052.000
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
鬼の里Uターンプラザ退所世帯の大江地域へ入所室数	目標	%	45	45	43	43	
	実績			40	43.10	42.86	
	目標	室	30	30	45	45	
	実績			16	22	30	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		過疎化が進行する中、定住施策は重要な課題であり、その拠点である。	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		若者が流出する中、比較的安価な家賃であり、若者流出の歯止めをかけるうえでも有効であるが、空き室率が5割を超えている。所管部署については検討も必要。(定住希望者のための滞在型体験施設であり住宅ではないため課題はあるが、債権管理や施設維持等効果的な管理を行うためには、他の住宅との一元管理の検討も必要)	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		市街地、近隣市町にも近く、利便性が高く効率的な施設である。	
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成27年末現在、6割の部屋が空室になっている。「広報ふくちやま」や市ホームページへの掲載などの広報に努めたが、空室の増加に歯止めがかからなかった。入居条件の緩和や使用料の減額などの取り組みが必要である。	
成果の方向性	拡充	×	
	維持	×	×
	縮小	×	×
	休廃止		×
皆減 縮小 <b>維持</b> 拡大 コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000761	定住促進住宅管理運営事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成17年度	担当部名	地域振興部				
基本理念	62	生活空間の整備		担当課	大江支所				
基本方針	01	住宅・宅地の整備を推進する		新規継続区分	継続事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし								
構成予算事業		会計		款		項		目	
530103	定住促進住宅管理運営事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
実施方法		補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		若者の定住施設の確保により定住を促進し地域活力の増進を図る。また、より満足を得られる施設とするための改修を行う。							
対象 (誰・何を対象に)		定住促進住宅入居者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		鬼の里定住促進団地の管理運営及び施設維持に関する経費 1 建物修繕料209千円・建物共済33千円・消防設備点検業務委託料11千円 2 事務経費2千円・室内クリーニング料216千円、意見書作成15千円							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	役務費	千円	179	266	72	31
	需用費	千円	235	209	116	86
	委託料	千円	11	11	11	11
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	425	486	199	128
B	人件費	千円	0	2,480	1,600	3,692
総事業費(A+B)		千円	425	2,966	1,799	3,820
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	486	199	128
地方債・その他特財 コメント	その他特財 = 家賃収入					
一般財源		千円	425	2,480	1,600	3,692

# 計画事業評価表

計画事業		000761 定住促進住宅管理運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	入居者募集広報回数	目標	回	3	3	3	3
		実績			2	2	1
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
入居戸数	目標	戸	24	18	30	30	
	実績			16	13	18	
入居者数	目標	人	48	36	75	75	
	実績			36	26	48	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		過疎化の進行する中、定住施策は重要な課題であり、その拠点である。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		若者が流出する中、若者流出の歯止めをかけるうえでも有効であるが、空き室率が4割となっている。所管部署については検討が必要である。(債権管理や施設維持など効率的な管理を行うため他の住宅との一元管理の検討も必要)			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		市街地、近隣市町にも利便性が高く効率的な施設である。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成27年度末現在、4割が空室になっている。「広報ふくちやま」や市ホームページへの掲載などの広報に努めたが、空室が多い状態が続いている。入居条件の緩和や家賃の減額などの取組みも必要である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000757	大江支所災害対策事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	65	消防・救急・防災対策の強化				担当課	大江支所			
基本方針	01	災害に対する危機対応力を強化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し（非公開）			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
550162	大江支所災害対策事業	01	一般会計	09	消防費	01	消防費	05	災害対策費	
550163	大江地域防災行政無線非常電源等修繕事業	01	一般会計	09	消防費	01	消防費	05	災害対策費	
550164	大江支所地域防災整備事業	01	一般会計	09	消防費	01	消防費	05	災害対策費	
550165	大江地域防災行政無線免許更新事業	01	一般会計	09	消防費	01	消防費	05	災害対策費	
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：）								
		補助金（補助先：）								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	災害時の円滑な対応で住民サービスの向上を図る。 大江地域は由良川の氾濫により、住民生活を脅かしてきた。そのため、旧村毎に各自治会役員や消防団、民生委員などで構成する防災支部を設置し、地域の災害、避難等情報収集し、迅速な災害対策につとめてきた。また、迅速かつ適切な情報伝達手段として防災行政無線の運用は極めて重要であるため各自治会に設置してある放送器材の業者による定期点検、随時点検などは必要不可欠である。今後も本部と支部連携強化と資器材の充実を図り、住民の生命財産を守るため事業の強化を図る。									
	対象 (誰・何を対象に)	市民								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	大江支所庁舎及び各自治会に設置している防災設備の維持管理経費を計上している。									
	1 防災行政無線設備保守点検972千円 2 消耗品20千円・電気料62千円・防災行政無線電源等修繕561千円・備品購入費60千円 3 電波使用料30千円・防災行政無線避雷器設置工事1,099千円 4 免許更新業務139千円  防災行政無線の運用は重要で有効な手段であり年1回の業者による機器の定期点検の実施は必要不可欠であるが、近年機器の老朽化等により不具合が生じ、経費がかさむ傾向にある。									
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	972	1,112	972	945
	工事請負費	千円	0	1,099	0	0
	需用費	千円	1,214	737	928	536
	備品購入費	千円	31	60	932	0
	役務費	千円	99	36	51	213
	負担金補助及び交付金	千円	100	31	29	103
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	492
	小計	千円	2,416	3,075	2,912	2,289
B	人件費	千円	0	4,800	5,760	5,538
	総事業費(A+B)	千円	2,416	7,875	8,672	7,827
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,416	7,875	8,672	7,827

# 計画事業評価表

計画事業		000757 大江支所災害対策事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	資機材を使用し対応した災害回数	目標	回	0	0	0	0
		実績			0	1	1
		単位コスト				2912.000	2289.000
	災害対策支部設置数	目標	回	0	0	0	0
		実績			0	6	6
		単位コスト				485.333	381.500
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
災害情報件数	目標	件	0	0	0	0	
	実績			9	159	22	
災害対策支部の設置回数	目標	回	0	0	0	0	
	実績			0	1	1	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		水害常襲地である大江地域において、従来から旧村毎に防災支部を設置している。地域の詳細な被災状況、避難状況等を把握し、迅速に情報伝達することは住民の生命財産を守るために重要である。																																				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		災害に対応するためには、組織としての活動が肝要である。大江支所管内では、年一回防災会議を開催し、本部と防災支部の連携強化に努めている。また、各支部においても防災会議を開催し、地域の現状把握や役割分担等を確認しており、災害に備え組織強化を図る。																																				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		地域の詳細な災害状況を把握し、対応することは住民の生命財産を守るうえで重要で、本部と防災支部連携を蜜にし、迅速に対策を講じるためにも、支部の活動は必要不可欠である。																																				
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 災害に備えて対応するうえで、防災支部の活動は重要である。設備、機器、機材の計画的で定期的な更新や補充が必要になってきている。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000753 大江山鬼っ子マラソン補助事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進				担当課	大江支所			
基本方針	02	スポーツを振興する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
650118	大江山鬼っ子マラソン補助事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
650123	「森の京都」大江山鬼っ子マラソン支援事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )									
	補助金 (補助先: 大江山鬼っ子マラソン大会実行委員会)									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		鬼伝説の大江山地域を舞台とし、参加者の健康増進を図るとともに、広く市外からも参加者輪募集し「鬼伝説の大江山を広く紹介する。								
対象 (誰・何を対象に)		実行委員会、市民								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		実施するため実行委員会に補助金を交付する。 宮川堤防沿いをコースに、鬼っ子マラソンを小学2年生までの児童と保護者のペアを対象とした2キロメートルと小学2年生以上の児童と対象とした3キロメートルで実施。								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	0	291	200	200
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	291	200	200
	B 人件費	千円	0	880	960	1,569
	総事業費(A+B)	千円	0	1,171	1,160	1,769
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	45	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	1,126	1,160	1,769

# 計画事業評価表

計画事業		000753 大江山鬼っ子マラソン補助事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	鬼っ子マラソン開催回数	目標	回	1	1	1	1
		実績			1	1	1
		単位コスト			291.000	200.000	200.000
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	鬼っ子マラソン参加者数	目標	人	170	170	160	160
実績				132	156	138	
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市外からも広く参加者を募集することにより、「鬼伝説の福知山」をPRできることから、本市としても補助を行っている。	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		本大会は主に小学生を対象としており、親子で体力づくりを行うとともに、「大江」に親しみをもっていただくことにより地域の観光施設等に訪れていただき地域活性化に寄与する。	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		参加者から参加料を徴収されているが、気軽に参加できるよう参加料も低く設定されるとともに、最低限の支出になるよう運営されている。	
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 京都府が推進する「森の京都」の事業の一環としてね市内外に、鬼伝説や森の京都の情報発信が行われた。地域に密着した事業であり、平成28年に設立された「大江まちづくり住民協議会」と実行委員会が主体になり開催する。	
成果の方向性	拡充 ×    ×    ×    × 維持 ×    ×    ○    × 縮小 ×    ×    ×    × 休廃止    ×    ×    ×		
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性		